

公立大学法人名古屋市立大学第三期中期目標（案）の概要

【中期目標の期間】

平成 30 年 4 月 1 日から平成 36 年 3 月 31 日まで

基本的な考え方

「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学」として活動することを基本理念として、全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み、国内外に広く大学の魅力を発信することにより、多くの若者や研究者に選ばれ、産業界や行政などとの連携を深め、世界をリードする大学へと発展するよう、次の教育・研究及び社会貢献活動に率先して取り組む。

- ・総合大学としての特性を活かして、分野横断的な知を修得させ、これらの教育を通じて、地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材を輩出する。
- ・健康・福祉の向上、生命現象の探求、経済・産業の発展、都市政策とまちづくり、子どもの育成支援などに関する研究課題に重点的に取り組む。
- ・地域に開かれた大学として、広く市民や名古屋市などとの連携を一層強化し、地域や行政の課題解決に寄与する。
地域の医療の発展に中核的な役割を果たし、生涯にわたる教育の推進に積極的に寄与する。

これらの活動を市民の理解を得ながら、推進していくために、より積極的に情報を発信し、説明責任を果たす。また、大学の運営体制の自律性・弾力性を強化し、財務内容の改善に取り組むことで、運営の基盤を強化する。

1 教育に関する目標

- ・総合大学の特性を活かした全学的学際的な教育体制により、教養教育を体系化及び強化
- ・入学者選抜において、十分な基礎学力を備えて、勉学への強い意欲を有し、将来、豊かな人間性を養い、社会で活躍できる適性を有する多様な人材を確保
- ・社会的な要請や時代の変化などに対応した人材育成を実現するため、教育研究上の基本組織のあり方を戦略的に検証・検討し、教育実施体制を充実・強化
- ・経済的に困窮している学生、留学生や障害のある学生などの多様なニーズに応じた学習・生活支援、経済的支援及びキャリア支援を充実

2 研究に関する目標

- ・創造性に富む高度な研究を展開
- ・社会ニーズの高い研究課題に重点的かつ分野横断的に取り組み、行政課題の解決につなげるなど社会へ還元
- ・研究費の戦略的配分と外部資金の獲得により、研究基盤を強化
- ・次世代を担う若手教員・女性教員の研究を支援

3 社会貢献等に関する目標

- ・地域と連携・協働し、大学の有する資源を還元することを通じて地域の課題解決に寄与し、生涯にわたる学習の機会を提供
- ・産学官との連携を強化することで、大学の教育・研究の促進を図るとともに、人類共通の課題や行政課題の解決へ寄与
- ・知的財産の活用を活性化させるとともに、産学官の連携によりその利用を促進することで、研究成果を社会へ還元

4 大学の国際化に関する目標

- ・海外の大学との大学間交流の充実やネットワークの形成を戦略的に進めるとともに、学生・教職員が幅広い分野で交流できる支援体制を整備
- ・留学生の積極的な受入れ及び学生の派遣・留学を促進し、国際感覚豊かな人材を育成
- ・国際間の研究協力による先端研究の推進などを通じて国際社会へ貢献するとともに、教育研究拠点として地域の国際化に寄与

5 附属病院に関する目標

- ・高度かつ先進的で、高い技術を要する医療に積極的に取り組み、安全安心で最高水準の開かれた医療を提供するとともに、新しい医療を創出する研究中核拠点として、大学病院が果たすべき機能を追求
- ・救急医療及び災害医療の拠点として、市民の命を守るための機能を強化
- ・市が設置する医療機関を始め地域の医療機関等と相互協力関係を強化し、地域包括ケアシステムの構築に寄与するなど、地域住民の要請に応えられる医療を提供し、在宅医療・介護連携及び保健医療の推進にも貢献
- ・高い倫理観と優れた技術・見識を有する医療人を育成
- ・病院の経営改善を継続するとともに、将来的な収支バランスを勘案しながら機能強化を図ることにより、健全で安定的な経営を実施

6 業務運営の改善及び効率化に関する目標

- ・ガバナンス機能を強化し、理事長のリーダーシップのもと、様々な社会からの要請に応えることができる、自律的、弾力的な運営体制を整備
- ・法人の自律的な運営の核となる固有職員について、将来的な管理職への登用を見据えて、職員の採用や一層の能力向上を積極的に推進
- ・法人内の業務全般を点検し、業務改善等を推進することによる一層の効率化・合理化

7 財務内容の改善に関する目標

- ・ 安定した財務運営に資する指標と指針を確立し、財務データに基づく適切な財務分析を活用することにより、健全な法人運営を行うための経営基盤を強化
- ・ 集約化等の業務の見直しによる経費の抑制及び施設・機器等の共同利用の推進
- ・ 土地・施設・設備等の資産の適正な運用管理のもと、効率的・効果的な有効活用を推進

8 自己点検・評価、情報の提供等に関する目標

- ・ 自己点検・評価の充実や外部評価の活用により内部質保証を確立
- ・ 市民や社会に対する説明責任を果たすとともに、戦略的広報の充実を進め、大学の持つ魅力を国内外に広く発信

9 その他の業務運営に関する重要目標

- ・ 防災・減災対策及び発災時の事業継続体制の構築などにより危機管理体制を強化するとともに、教育・研究機関及び医療機関として安全管理対策を充実
- ・ 教育研究及びその支援活動の基盤としての情報環境を安全かつ円滑に運用
- ・ 男女共同参画推進の趣旨を踏まえ、教育、研究及び労働環境の整備を進めるとともに、女性の意思決定・政策立案過程への参画促進など、女性の活躍を支援
- ・ 倫理規範の遵守と業務の適正な執行を徹底し、社会的信頼を維持